Cisco SD-WAN Manager データストレージ

Cisco SD-WAN Manager データストレージに関する情報

Cisco SD-WAN Manager は、デバイスの設定情報、アラーム、監査ログ、さまざまなメトリック、ファイアウォールルールなどの幅広い情報をデータベースに保存します。

Cisco SD-WAN Manager データストレージの設定

1. Cisco SD-WAN Manager のメニューで、**[Administration]** > **[Settings]** の順に選択します。
2. [Statistics Database Configuration] セクションをクリックして、データベースで使用可能な最大容量を表示します。
3. [Statistics Type] 列の各フィールドに、ストレージの割り当て量をギガバイト（GB）単位で指定します。すべてのフィールドの合計値が使用可能な最大容量を超えないようにしてください。

テーブル	説明
Approute インデックス名：approutestatsstatistics	トンネル SLA の計算に使用される SDWAN トンネル SLA
- Aggregated SAIE インデックス名：aggregatedappsdpistatistics	特定のエッジおよびインターフェイスの集約アプリケーションデータ。これは、特定のサイト/デバイスのアプリケーションの使用量を計算するために使用されます
監査ログ	監査ログ

テーブル	説明
vnf statistics	Clouddock のサービスチェーンの正常性統計データ
ファイアウォール	ファイアウォールのルールとカウンタ
IPS Alert	侵入防御システム。ネットワークトラフィックをモニターし、定義されたルールセットに照らしあわせて分析します。
CloudExpress	Cloud onRamp
AppHosting	
アラーム	アラーム
パフォーマンス モニター（Performance Monitor）	アプリケーション パフォーマンス。各アプリケーションおよびサイトのパフォーマンスを測定するために使用されます。
NWPI	Network Wide Path Insight のトレース、フロー、パケット、集約、およびタスクデータ
umts-monitoring	アンダーレイ ネットワーク パフォーマンスの測定
URLF	URL フィルタリング機能は、URL リストの情報に基づいて特定の Web サイトへのアクセスを許可または拒否して、インターネット Web サイトへのアクセスを制御します。
Bridge Interface	Cisco vEdge デバイスのブリッジインターフェイスの RX/TX 統計
デバイスのイベント	デバイスから受信したイベント
EIO	EIO モジュール 3G/4G/5G 統計
デバイス設定	デバイス実行設定
Interface	デバイス インターフェイス テーブル
WLAN クライアント情報	
UtdDaqIox	
速度テスト	速度テストレコード

テーブル	説明
BridgeMac	Cisco vEdge デバイスのインターフェイス/MAC アドレスごとの Rx/Tx 統計
Device System Status	CPU、メモリ、ディスクなどのデバイスシステムステータス
umts-event-tunnel-sla-change	トンネルの SLA の変更によってトリガーされるアンダーレイパフォーマンス測定。
QoS	各インターフェイスキューの統計/カウンタ。
Tracker Statistics	エンドポイントトラッカーの SLA メトリック
Sleofflinereport	
Flow Log	フローログ機能（Cisco vEdge デバイスにのみ適用）
DeviceHealth	デバイス正常性テーブル
Umbrella	Umbrella 統合機能では、デバイスを介して DNS サーバーに送信されるドメインネームシステム（DNS）クエリを検証して、クラウドベースのセキュリティサービスを有効にすることができます。
Network-wide Packet Insight (raw)	NWPI raw データストレージ
umts-event-tunnel-pmtu-change	トンネルパスの MTU の変更によってトリガーされるアンダーレイパフォーマンス測定。

テーブル	説明
Security Unified Logging	この機能は、ポリシーの有効化および実行中のさまざまな段階でさまざまなセキュリティ機能の接続イベントに関する情報をキャプチャするために使用される統合ロギングをサポートします。 Unified Logging を使用すると、ゾーンベースのファイアウォールと、IPS、URL-F、AMP などの統合脅威防御機能のログデータを可視性化し、 ブロックされたトラフィック、脅威、サイト、またはマルウェアの理解や、関連付けられたポート、プロトコル、またはアプリケーションでのトラフィックまたはセッションをブロックしたルールを理解することができます。 さらに、この機能はオンデマンドのトラブルシューティングもサポートします。オンデマンドのトラブルシューティングでは、ユーザーは設定された期間内のデバイスからのさまざまなトラフィックフローの接続イベントを表示できます。
SiteHealth	サイトの正常性テーブル
Artstatistics	
UMTS Rest Event	トンネル SLA の変更とパス MTU の変更を除く他のイベントによってトリガーされるアンダーレイパフォーマンス測定。
SAIE	IP フローの tx/rx カウンタごとの raw DPI レコード。
Aggregated Tunnel SLA approutestatsstatistics_routing_summary	各トンネルの 24 時間の SLA 集約
Aggregated Tunnel SLA approutestatsstatistics_transport_summary	カラーの組み合わせごとの 24 時間の SLA 集約

4. [Save] をクリックします。

   Cisco SD-WAN Manager は、指定したストレージ割り当てを 1 日 1 回、午前 0 時に更新します。

Cisco SD-WAN Manager データストレージの表示

Cisco SD-WAN Manager のメニューで、**[Administration]** > **[Settings]** > **[Statistics Database Configuration]** の順に選択します。

データベースに使用できる容量と、データタイプごとに現在使用されている容量の合計が表示されます。

ディスクサイズの推奨事項と要件については、『Cisco Catalyst SD-WAN Controller Compatibility Matrix and Server Recommendations』で、ご使用のリリースのサーバー推奨事項を参照してください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。